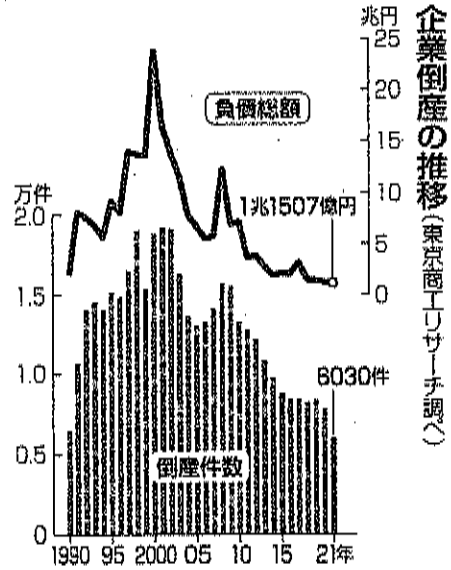


企業倒産 57年ぶり低水準

21年 コロナ関連は倍増

東京商工リサーチが13日発表した2021年の企業倒産件数(負債額1000万円以上)は、前年比22・4

倍増し、全体の3割近
くを占めました。最
多業種は飲食業で約2
倍の300件でした。商
工リサーチは「支援策
があっても耐え切れな
い企業が出てきてい
る」とみています。
倒産件数全体の産業
別では、10産業中9産
業が前年水準を下回り
ました。飲食業や宿泊
業などのサービス業は
前年比22・6%減の2
007件と6年ぶりに
減少したものの、件数



は10産業で最多でし
た。
同時に発表した21年
12月の倒産件数は前年
同月比9・6%減の5

04件。7カ月連続で
減少し、12月としては
1989年(493
件)以来、32年ぶりの
低水準でした。

ただ、新たな変異株
「オミクロン株」の感
染が拡大しており、商
工リサーチは「長引く
コロナ禍で疲弊し、事

業継続を断念する『諦
め型』倒産が、さらに
顕在化する事態も懸念
される」と指摘してい
ます。